

次期学長の選考について

国立大学法人横浜国立大学学長選考・監察会議は、梅原出学長の令和9年3月31日付任期満了に伴い、次期学長の選考を行います。

今回の学長選考にあたっては、昨年より学長選考の在り方について検討を積み重ね、学長選考・監察会議が主体的に選考を行うことを確認し、以下のような方針により行うこととしました。

1. 学長選考基準「求められる学長像」を提示し、それにふさわしい学長候補者の推薦を求める。
2. 推薦にあたっては、推薦資格者20人による連署を要件とする。その際、幅広い部署からの推薦があることが望ましい。
3. 学長候補者が学内構成員に対して口頭で所信を表明し、質疑応答に応じる「所信表明の会」を実施する。
4. 意向調査は、学長選考・監察会議が選考の参考にする情報の一つとして実施する。
5. 学長選考・監察会議は、学長候補者との面談を実施し、その内容に加え、推薦書等、所信表明の会の評価、意向調査の結果を参考に、総合的に判断し、次期学長予定者を決定する。

学長選考・監察会議は、本学が更なる発展を目指すために最適任者である学長予定者を決定するよう、慎重かつ十分な審議を行い、最大限尽力していきたいと考えております。役員及び教職員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

令和8年6月

国立大学法人横浜国立大学 学長選考・監察会議

国立大学法人横浜国立大学 学長選考基準（求められる学長像）

令和8年3月18日
国立大学法人横浜国立大学
学長選考・監察会議

横浜国立大学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を大学憲章に掲げ、この大学憲章のもとで世界の学術研究と教育に重要な地歩を築き、その成果にもとづいて社会に貢献していくことを目指している。

学長には、大学憲章の意義を理解し、その実現を追求するとともに、急速に変化する国際情勢や少子化による18歳人口の減少など国立大学法人を取り巻く国内外の環境の変化に柔軟に対応するため、これまでに構築した優れたシステムを活用した持続可能な大学経営を実現する強い意志とともに、次のような資質能力が求められる。

- 高潔な人格、幅広い見識、国際的視野、経営感覚を有するとともに、コンプライアンスの徹底を意識し、社会から信頼を得ることができる。
- 高い志と強力なリーダーシップをもって大学構成員の意欲と創意を引き出すとともに、将来を見据え、長期的な成長戦略を掲げて本学の改革を決断、実行する。
- 本学の教育、研究の発展ビジョンを明確に示し、地域、国際社会および産業界との連携を推進するとともに、教育研究成果の社会への還元に積極的に取り組む。

国立大学法人横浜国立大学学長選考プロセス

1. 学長選考・監察会議による公示

- ・学長選考基準(求められる学長像)を提示。
- ・学長候補者の推薦を受付。

2. 推薦書等の確認

- ・推薦書、同意書、所信表明書の確認。

3. 学長候補者による所信表明の会の実施

4. 意向調査の実施

5. 面接の実施

6. 学長予定者の決定

- ・学長候補者との面接を実施し、推薦書等、所信表明の会の評価、意向調査の結果を参考に、総合的に判断し、次期学長予定者を決定。

7. 文部科学大臣へ申出・文部科学大臣による任命